

行政実績一覧

平成 29 年 4 月	<p>《上天草高校学校運営協議会専門委員会有識者メンバー》</p>
平成 28 年 29 年度	<p>《観光庁テーマ別観光による誘客事業有識者メンバー》</p> <p>国内外の観光客が全国各地を訪れる動機を与えるため、特定の観光資源に魅せられて日本各地を訪れる「テーマ別観光」のモデルケースの形成を促進し、新たな旅行需要を創出する。</p>
平成 28 年 29 年	<p>《高知県地域観光商品造成等委託業務》</p> <p>＜着地型旅行商品の企画力・造成力の装着をすること＞</p> <p>業界トレンドや旅行者のニーズに応じて、地域が主体となって地域の観光資源を活用した着地型旅行者商品を企画・造成できるノウハウを習得してもらうとともに、塾の受講者を中心とした観光事業者等による連携強化や事業規模の拡大による地域観光クラスターの形成につなげる。</p> <p>② 5 件以上の旅行商品販売実現②事業者の商品造成等に関する知識・スキル習得</p> <p>②地域観光クラスターの形成</p>
平成 28 年 11 月	<p>《鳥羽市役所 鳥羽市朝食&朝市 PJ 企画》</p> <p>魅力ある朝食づくりと魚介のブランド化を打ち出した宿泊プランを造成し、魚食拡大と他エリアの差別化。</p> <p>旅行者が求めている地域の方々とのふれあいの場の提供と鳥羽の恵みがたっぷり詰まった食材を活かした地域食材利用促進の仕組みづくりを行う。</p>
平成 28 年 8 月	<p>《熊本県復興会議 全体設計》</p> <p>熊本観光戦略として「熊本ブランド」を短期的と中長期的な視点でそれぞれ整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州全体で取り組む課題なのか県で取り組む課題なのかを整理整頓する ・着地型など作りたいものを作るのではなく、売り先をマッチングする <p>売り先を獲得するためにはどうすべきか</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルキャピタルの構築の仕方について ・マーケットインの視点から何をすべきか ・県の地域経済の見える化とKPIの設定について ・推進体制の見える化について ・観光マネジメントについて どのお客を増やすのか どのお客の単価を上げるのか
平成 28 年 1 月	<p>《五島列島おもてなし協議会（五島市、上五島町）》</p> <p>五島列島の行政と観光協会で構成される「五島列島おもてなし協議会」では、世界遺産登録の動きを契機として、五島列島が多くの観光客を持続的に迎え入れることができる地域となるよう、観光客受入体制づくりの中心的役割を担う「宿泊施設」向けの研修会（全5回）を開催</p>
平成 28 年 1 月	<p>《福島県裏磐梯観光協会 観光資源のブラッシュアップ》</p> <p>シンボリックな一押し資源の発掘、おすすめ周遊コースの作成</p>
平成 27 年 28 年度	<p>《添田町歴史まちづくり推進協議会設立支援業務》</p> <p>組織づくりの基盤整備と設立後における自主運営に向けた体制整備を検討する</p>
平成 27 年 10 月	<p>《名古屋市市町村ゼミナール》</p> <p>＜テ ー マ＞ 「地域と共に変革を起こす、行政チームの作り方」</p>
平成 27 年 10 月	<p>《平成 27 年度 岡山県観光マーケティング調査事業》</p> <p>「備前地域ワークショップ」</p> <p>備前地域における観光ニーズ調査等の結果を受けて、観光コンセプトの設計や地域一体となった観光誘客につながる観光施策を検討する。</p>
平成 27 年 10 月	<p>《新しい島原市を創るワークショップ》</p> <p>島原市役所内職員のコミュニケーション活性化およびチーム力向上 市民と市役所が一体となった新しい取組み～着地型観光開発を通して～</p>
平成 27 年 10 月	<p>《水俣市観光振興計画推進委員会》</p> <p>水俣市湯の児温泉着地型プログラム整備事業におけるワークショップ 湯の児温泉観光振興・誘客推進みんな事会議</p>
平成 27 年 8 月	<p>《上天草市観光おもてなし講座》</p> <p>地域観光事業者のサービスの磨き上げを計り地域への集客向上</p>